



▲提供店は「青いのぼり」が目印



▲(一社)舞鶴市水産協会HP

「舞鶴のさかな提供店」は、舞鶴地方卸売市場で取り扱われた生鮮魚介類「舞鶴のさかな」やその料理を積極的に提供し、舞鶴の食の魅力を発信するなどの登録基準を満たした店舗。目印はもちらん、耳でも満足できるように「こ

「舞鶴のさかな提供店」が決定

産地で味わつて最高にうまい



▲丹後とり貝

舞鶴湾では、肉厚で柔らかく深い甘みと一般的なとり貝の倍以上の大きさが特徴の「丹後とり貝」と、餌となる海中のプランクトンが豊富な水深で育成され、天然物に比べ身の入りが1.5倍にもなる「育成岩がき」の出荷が最盛期を迎えています。

丹後とり貝・育成岩がきの出荷が最盛期

舞鶴のブランド産品を全国へ発信中



▲育成岩がき

舞鶴市内では、丹後とり貝が約25万個、育成岩がき約18万個の出荷が見込まれ、丹後とり貝は6月下旬まで、育成岩がきは8月下旬まで、舞鶴地方卸売市場から、市

第4期地域福祉計画の概要

Table with 2 columns: 基本理念 (Basic Philosophy) and 基本方向 (Basic Direction). It outlines goals like 'improving quality of life' and 'strengthening community support'.

市では、誰もが住み慣れた地域で役割を持って生きいきと暮らし続けられるまちを目指して、〜ひとりぼっちをつくらない、ともに支えあうまちづくり〜

舞鶴市第4期地域福祉計画を策定

誰もが生きいきと暮らし続けられるまちを目指して

計画では「各分野の新たな連携」「福祉サービスが利用しやすいしくみづくり」「地域の福祉環境の基盤づくり」...

寄付金・寄贈品など

温かい善意をありがとうございました

平成30年度に市に寄せられた寄付についてお知らせします。なお、匿名を希望されている人は掲載していません。

- 【寄付金】敬称略
◆個人 ◆ふるさと納税：619人
◆市民福祉：桑田弘子(南田辺)、神内克己(公文名)、松嶋康晴(森)
◆団体 市民福祉：全京都建築労働組合舞鶴支部、舞鶴アマチュアカラオケ連盟、大相撲舞鶴場所実行委員会、舞鶴商工会議所女性会、海上保安学校内売店

英語研修参加者が帰国報告

ポーツマス市から帰国

4月5日、姉妹都市・ポーツマス市(英国)での英語研修に参加した中学・高校生の7人が市役所で多々見市長に帰国報告をしました。参加者たちは3月23日〜31日の日程でポーツマス市を訪問。ホームステイをしながら現地の英会話学校に通い、また、メイフィールド校で昨年10月に初来訪した同校生徒たちと交流

報告会では、現地で買っ物の際とてもやさしく対応してもらったエピソードや日本から持って行ったカイロが現地でもとても喜ばれてびっくりしたことなど心に残っていることを報告しました。



▲現地の体験を報告



▲参加者たちと市長

AI-OCR実地検証にかかる協定を締結

効率的な市役所業務のために

4月18日に市と京都電子計算株式会社で「AI-OCRの全庁的実地検証に関する協定を締結しました。AI-OCRとは従来のOCR(光学文字認識)と違い、手書きの文字をAI(人工知能)がデジタル文字コードに変換し、識字率を劇的に向上させるもので、手入力の時間を短縮すると同時に、入力ミスなどの減少を目指すものです。これまでに保育所の入所に使用する支給認定申請書などの手書き文字の読み取りテストを行い、良好な結果が得られました。



▲締結の様子

「AI-OCR」と「RPA(パソコンの操作を記憶し自動実行するソフトウェアロボット)」を組み合わせることで手入力で時間がかかっていた事務の作業時間短縮が見込めます。《情報システム課》

